

知的財産

自他の知的財産権の尊重を基本として事業戦略・研究開発戦略と連動した知的財産戦略の取り組みを推進し、グローバルでの事業の強化・拡大に貢献していきます。

知的財産方針

- ▶ 事業・研究開発の源流に入り込んだ特許ポートフォリオ※の徹底強化
- ▶ 海外知的財産制度・実態の把握と対応、および海外拠点の知的財産活動の強化
- ▶ 国際標準化の推進

※ 事業分野の自由度を確保し、訴訟リスクの回避や競争優位を目的として、意図的に関連した技術分野で取得した特許群
出典：「経営用語の基礎知識」(野村総合研究所)

2014年度の主な取り組み

事業・研究開発の源流に入り込んだ知的財産活動

研究開発の主要テーマや重点商材について、知的財産部門と事業部門・研究開発部門が連携して、特許ポートフォリオを強化しました。また、エネルギー、パワーエレクトロニクス関連事業を中心に特許出願に注力しました。

今後は、研究開発着手前のテーマ企画の段階から事業・開発の方向性を確認して特許の分析・調査に基づく知財戦略を立案し、事業上絶対優位な特許ポートフォリオの構築を強化

していきます。さらに、保有・獲得した知財の積極的な活用を図っていきます。

主な特許出願分野

- パワエレ製品の高効率化、省エネ化の特許
- SiC関連技術をはじめとする半導体に関する特許
- 自動販売機に関する特許

グローバル化に対応した知的財産活動

グローバルでの知的財産活動を強化しており、知的財産における事業リスクを低減するために、海外知的財産の調査、模倣品対策を継続して行っています。

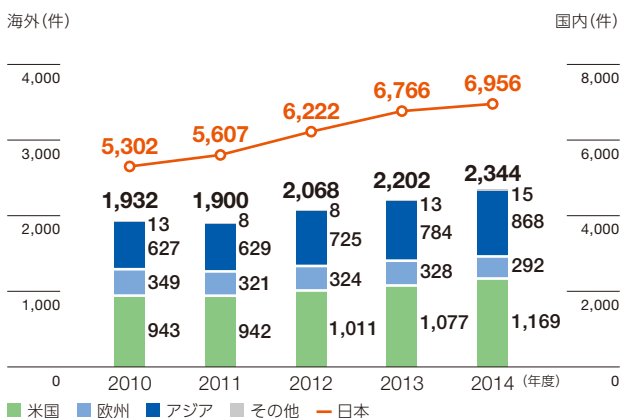
2014年度は、中国において現地の知財部門が主体となり、知的財産情報の収集や模倣品対策などに取り組むとともに、タイ、インドなどを中心としたアジアで、知財戦略の立案、技術流出対策などに注力しました。さらに、事業のグローバル化に伴い、全社的な国際標準化委員会を立ち上げ、関連部門とともに製品の国際規格準拠を加速しました。

今後も海外での知的財産活動を強化していくとともに、戦略的な国際標準化に取り組み、新たな製品・サービスの創出や市場拡大に貢献していきます。



IEC (国際電気標準会議) 東京大会の当社ブースにて、国際標準化の取り組みを紹介

国内・海外の特許保有件数推移



国内・海外の特許出願件数推移

